



中野 晴啓からのメッセージ

日本は石破新内閣が発足した途端、間髪入れずの衆院解散総選挙を断行したことで、政局不安定感が国内株式市場をじわりダラダラの株価水準下落へと沈滞させて来ました。

石破内閣への不信感は為替を再び円安進行へと逆戻りさせましたが、円安に株高で呼応するトレンドが途絶え、政治混乱を嫌気したマーケットの懸念が、総選挙結果を見越していたかのように自民党は惨敗して大きく過半数割れ。現状次の政権枠組みは不透明な状況です。

この間米国では実体景気の底堅さが確認されて、米長期金利は再び急上昇しましたが、米テック系企業の株価はその影響を受けず、米株式市場3指数はいずれも史上最高値圏で安定を続けています。しかしこうした穏やかな相場は得てして荒波の前兆かもしれません。米大統領選が迫り、どちらの大統領になってもマーケットは大きく反応することになりそうです。

国内市場も海外も政治の影響が変動幅拡大を予兆させますが、所詮政治要因による相場変動は企業価値に物差しを置く本格長期投資には大した話ではありません。政治はショートターミズムでも、私たち長期投資家は産業界を支えるために、忍耐強く良質な資本提供を続けることで強い意思表示を続けて行くのみです！

なかのアセットマネジメント株式会社
代表取締役社長 中野 晴啓

ポートフォリオマネージャー居林 通より

なかの世界成長ファンド
ポートフォリオマネージャー
居林 通

世界の株式市場を取り巻く環境は複雑さと不確実さを増していると考えています。特に米国の大統領選の結果は、民主党と共和党のどちらの候補が勝とうと短期的に大きなインパクトを株式市場に与えかねません。

このような状況で、なかの世界成長ファンドとしましては、強い競争力と高い成長性を持つ企業に厳選投資をしたいと考えています。例えば、オランダのASMLという企業は半導体の製造装置を作っている企業ですが、最近の受注高が予想を下回ったため株価は短期的に大きく下落しました。しかし、ASMLは世界で彼らしかできない半導体製造装置を持っているために、半導体の長期的な成長には不可欠な企業である(つまり強い競争力を持っている)と考えており、下落局面でも保有を続ける方針であります。

一方で、今後1ヵ月程度の不確実性の高まりを考慮すると、組み入れ率をいったん低下させて、新興国を中心とするファンドに再分配するのが来年を見据えた動きとしてはより良い判断ではないかと考え、10月末のなかの世界成長ファンドの組み入れ率はその前の月よりも若干低下しております。しかし、基本的には、先ほど述べましたような強い競争力と高い成長性を長期で維持できる企業に継続投資を続ける、という考えに変更はありません。どうか今後ともなかの世界成長ファンドをよろしく願いいたします。

※ コメントの内容は過去の市場環境、運用実績および投資行動であり、将来の市場動向、運用成果等を示唆・保証するものではありません。
※ 巻末記載の「当資料をご利用にあたっての注意事項等」を必ずお読みください。

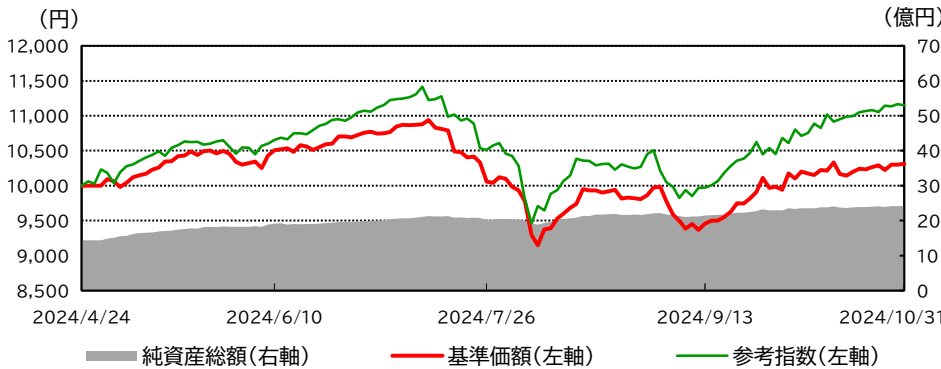
お申込みの際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご確認のうえ、ご自身でご判断下さい。

設定・運用は **なかのアセットマネジメント株式会社**
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第3406号
加入協会:一般社団法人投資信託協会
ホームページ:<https://nakano-am.co.jp/>



10月の基準価額は米国の大統領選挙の行方を見極めるため、基本的に横ばいでした。しかし、為替は円安に振れ、海外株式市場も堅調な推移でしたので、1万円の基準価格を回復しました。大統領選後は金融市場の振れ幅が増加するかもしれませんが、長期的に競争力のある企業に集中する姿勢は変えない方針です。(居林 通)

●基準価額及び純資産総額の推移(2024年10月末現在)



基準価額	10,313円
純資産総額	24億円

※ 基準価額は信託報酬控除後の価額です。
 ※ 参考指数は「MSCI オール・カンントリー・ワールド・インデックス(配当込み・円換算ベース)」であり、設定日の値を10,000円として計算しています。MSCI オール・カンントリー・ワールド・インデックス(配当込み・ドルベース)をもとに、委託会社で円換算しています。
 ※ 純資産総額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

●騰落率

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	設定来
当ファンド	2.0%	2.1%	3.1%	-	-	-	3.1%
参考指数	6.7%	6.6%	8.9%	-	-	-	11.5%

※ 基準価額の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

●資産の組入比率

なかの世界成長マザーファンド	95.6%
現金等	4.4%
合計	100.0%

●分配金実績(一万口当たり、税引前)

決算期	-	-	-	設定来合計
分配金	-	-	-	-

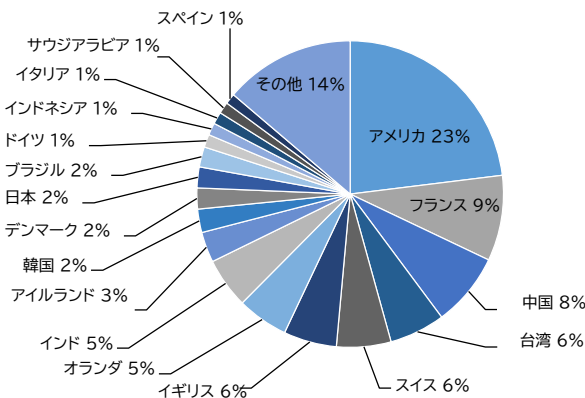
※ 運用状況により分配金額が変わる場合、または分配金が支払われない場合があります。

●基準価額の変動要因(前月末比)

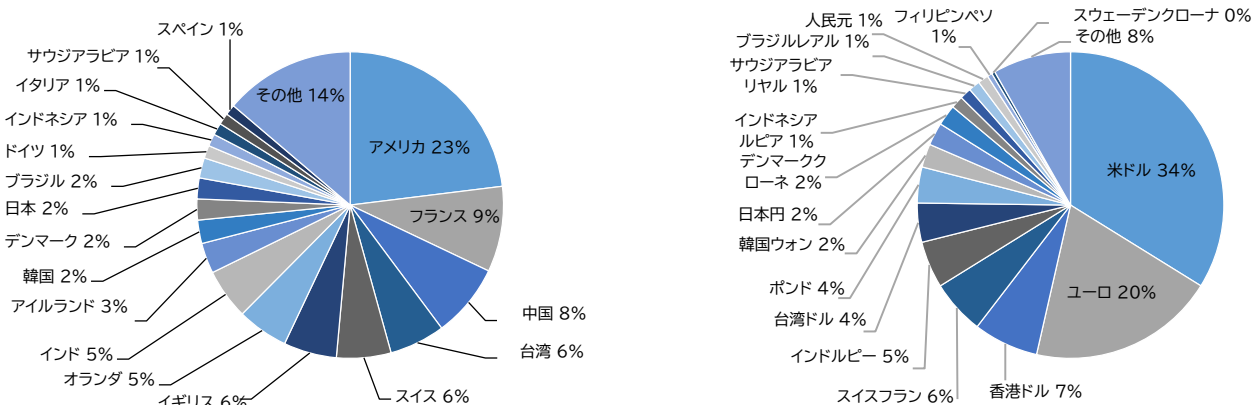
基準価額の変動額	200円
ティー・ロウ・プライス・ファンズ SICAV-グローバル・インパクト・エクイティ・ファンド(クラスS、円建て)	52円
コムジエスト世界株式ファンド(適格機関投資家限定)	139円
コムジエスト・ヨーロッパ・ファンド90(適格機関投資家限定)	56円
アライアンス・バーンスタイン・エマージング成長株ファンド(適格機関投資家専用)	-31円
アライアンス・バーンスタイン SICAV-グローバル・グロース・ポートフォリオ	10円
信託報酬・その他	-27円

※ 上記はあくまで概算値であり、その正確性、完全性を保証するものではありません。
 ※ 項目ごとに円未満は四捨五入しており、合計が基準価額の変動と一致しない場合があります。

●国・地域別株式比率



●投資先通貨別比率



※ 「国・地域別株式比率」、「通貨別比率」は2024年9月30日のデータをもとに10月31日現在の投資ウェイトで当社が計算しております。
 ※ その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※ 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。
 ※ 巻末記載の「当資料をご利用にあたっての注意事項等」を必ずお読みください。

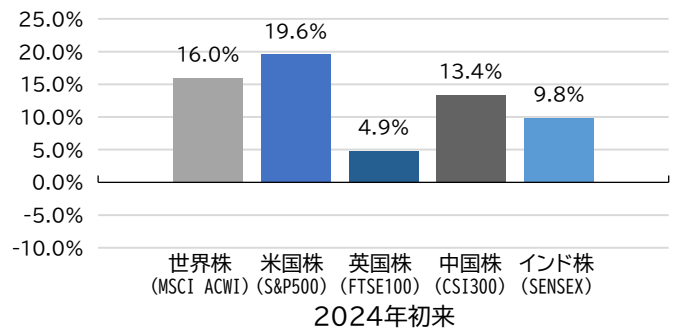
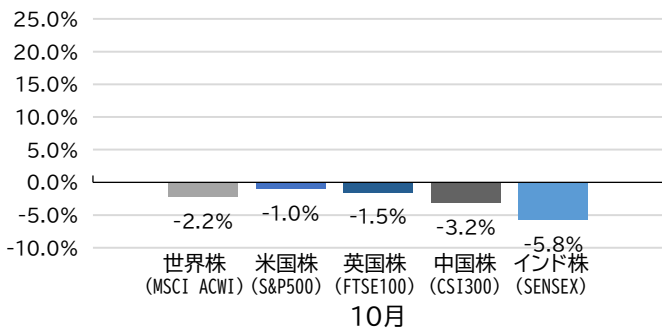


●組入ファンドの概要(なかの世界成長マザーファンド)

	銘柄名	運用会社	組入比率
		ファンド概要	
1	コムジェスト世界株式ファンド (適格機関投資家限定)	コムジェスト・アセットマネジメント株式会社	32.1%
		世界の企業を対象に徹底したファンダメンタル分析に基づいて、高い利益成長が期待される企業を中心に、集中投資します。	
2	アライアンス・バーンスタイン・エマージング成長株ファンド(適格機関投資家専用)	アライアンス・バーンスタイン株式会社	26.6%
		新興国の企業を中心に投資を行います。景気サイクルによる利益成長ではなく、構造的な成長機会を重視しています。	
3	コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90 (適格機関投資家限定)	コムジェスト・アセットマネジメント株式会社	23.6%
		主としてヨーロッパの企業を対象に、高い利益成長が期待される企業を中心に個別銘柄を選定し、信託財産の成長を目指します。	
4	ティー・ロウ・プライス・ファンズ SICAV ーグローバル・インパクト・エクイティ・ファンド(クラスS、円建て)	ティー・ロウ・プライス・インターナショナル・リミテッド	12.2%
		主として海外の社会と環境にプラスになる事業を行い、株価が将来にわたって上昇すると期待される企業に投資するファンドです。	
5	アライアンス・バーンスタイン SICAV ーグローバル・グロース・ポートフォリオ	アライアンス・バーンスタイン・エル・ピー	2.6%
		主として新興国を含む世界各国の株式等に投資します。長期で優れた利益成長を達成する可能性が高い企業に厳選投資します。	
	現金等		2.8%

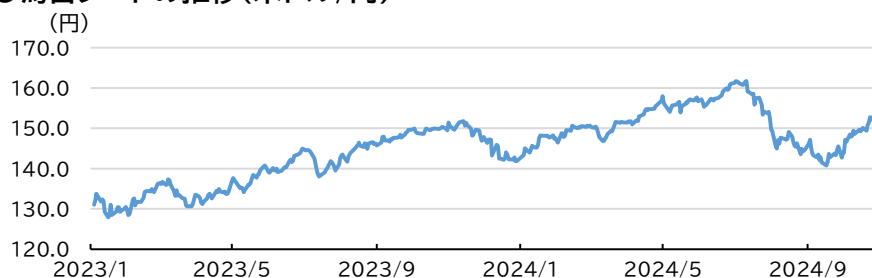
<ご参考>

●地域の代表的な株式指数の騰落率



※ 上記の指数は現地通貨ベースです。

●為替レートの推移(米ドル/円)



※ 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。
 ※ 巻末記載の「当資料をご利用にあたっての注意事項等」を必ずお読みください。



●各ファンドの組入上位5銘柄

コムジェスト世界株式ファンド(適格機関投資家限定)

No.	銘柄名	国・地域	業種	組入比率	過去3ヶ月リターン
1	マイクロソフト	アメリカ	情報技術	7.1%	-2.7%
2	ASMLホールディング	オランダ	情報技術	5.8%	-26.8%
3	台湾セミコンダクター(TSMC)	台湾	情報技術	5.7%	15.3%
4	イーライリリー	アメリカ	ヘルスケア	5.6%	3.3%
5	リンデ	イギリス	素材	4.5%	0.9%

アライアンス・バーンスタイン・エマージング成長株ファンド(適格機関投資家専用)

No.	銘柄名	国・地域	業種	組入比率	過去3ヶ月リターン
1	台湾セミコンダクター	台湾	情報技術	8.6%	15.3%
2	テンセント・ホールディングス	中国	コミュニケーション・サービス	6.6%	11.7%
3	サムスン電子	韓国	情報技術	3.7%	-29.0%
4	SKハイニクス	韓国	情報技術	3.5%	-4.1%
5	メイトウアン	中国	一般消費財・サービス	3.1%	67.0%

コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90(適格機関投資家限定)

No.	銘柄名	国・地域	業種	組入比率	過去3ヶ月リターン
1	ASMLホールディング	オランダ	情報技術	7.3%	-26.8%
2	ノボ・ノルディスク	デンマーク	ヘルスケア	7.0%	-15.3%
3	エシロールルックスオティカ	フランス	ヘルスケア	4.9%	1.7%
4	アルコン	スイス	ヘルスケア	4.2%	-4.6%
5	エクスペリアン	イギリス	資本財・サービス	4.1%	2.9%

ティー・ロウ・プライス・ファンズ SICAV-グローバル・インパクト・エクイティ・ファンド(クラスS、円建て)

No.	銘柄名	国・地域	業種	組入比率	過去3ヶ月リターン
1	ELI LILLY & CO	アメリカ	ヘルスケア	3.8%	3.3%
2	THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	アメリカ	ヘルスケア	3.0%	-10.9%
3	LINDE PLC	アメリカ	素材	2.9%	0.9%
4	ASML HOLDING NV	オランダ	情報技術	2.7%	-26.8%
5	DANAHER CORP	アメリカ	ヘルスケア	2.7%	-11.3%

アライアンス・バーンスタイン SICAV-グローバル・グロース・ポートフォリオ

No.	銘柄名	国・地域	業種	組入比率	過去3ヶ月リターン
1	Microsoft Corp.	アメリカ	情報技術	4.8%	-2.7%
2	Amazon.com, Inc.	アメリカ	情報技術	4.7%	-0.3%
3	ASML Holding NV	オランダ	情報技術	4.1%	-26.8%
4	Novo Nordisk A/S - Class B	デンマーク	ヘルスケア	3.4%	-15.3%
5	Visa, Inc. - Class A	アメリカ	金融	3.3%	9.3%

※ 上記はデータが入手できる2024年9月30日現在の情報です。
 ※ 分類はなかのアセットマネジメントの判断によります。
 ※ 組入比率は、各ファンドの純資産総額を100とした場合の比率です。
 ※ 「過去3ヶ月リターン」は、現地通貨ベースで表示しています。
 ※ 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。
 ※ 巻末記載の「当資料をご利用にあたっての注意事項等」を必ずお読みください。



～コラム～

株式市場の解説記事を読むときの勘所

このコラムをお読みの方は日常、株式市場の解説を色々お読みになっていることでしょう。株価がなぜ上がったのか、下がったのかをその時々々の要因によって解説されています。例えば、今ですと米国の大統領選挙の行方や中東情勢、さらにはAI技術の動向などによっても株価の上下を説明する記事を見かけます。そのせいかもしれませんが、株価というのはいろいろなもので動くのですね、と言われることがあります。

とはいえ、株式市場はあくまでも企業の価値を取引する場なので、すべての政治、地政学、業界のイベントは「企業収益」という中間地点を通して株価に影響を与えていると考えています。つまり、そのイベントは企業収益にどのような影響を与えるのか？ を考えるのが株式市場の解説記事を読むときの勘所と言えます。

たまに、米国の金利が上昇したので日本の成長株が下落した、といったような「イベント→株価」という直結タイプの解説記事は「なぜ(日本の)企業価値がそれで変化したのか」という重要なポイントを抜かしているのが要注意だと考えます。

そうすると、読者の方は「イベントといっても短期イベントもあるし、長期のトレンドもある」とお考えになると思います。全くその通りで、我々が日々接しているニュースには短期でニュースバリューをなくしてしまうものもあれば、長期で繰り返し出てくるものもあります。株式市場にとって重要なのは言うまでもなく後者の方であります。

もっと言えば、人口構成の変化でありますとか、破壊的技術進歩(AIはそうかもしれませんが)だったり、世界経済の再分断などは短期的にはわずかな変化であっても徐々に世界の企業の事業のあり方を変えてゆくこととなります。長期投資家として、長期的かつ累積的な変化を見逃さないように株式市場の解説記事をお読みいただくと良いと思います。(居林 通)



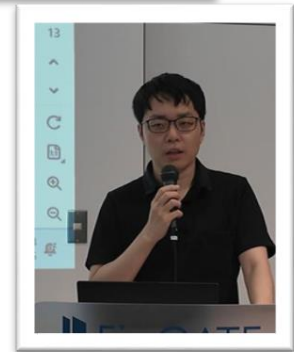
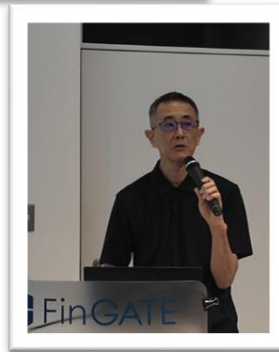
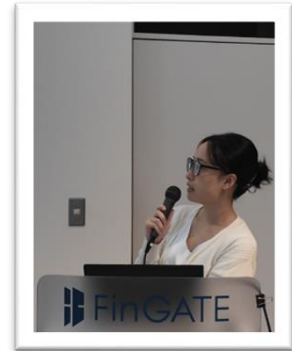
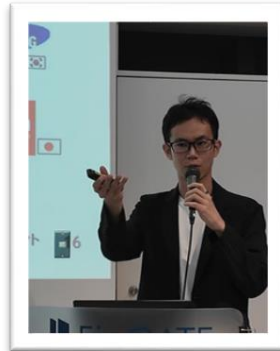


●運用チームから

氏名	役職	コメント
 中野 晴啓	代表取締役社長 最高投資責任者 (CIO)	この1年余りは確かに前職退任から新会社立ち上げ、そして運用開始と怒涛の毎日だったからか、また痩せたねとか、やつれてるよとか時折言われるのですが、体重は変わらず元気一杯にやっています！ただ長期投資家の皆さんと精力的に交わる中で、盛り上がり過ぎて少々痛飲してしまう癖は治らず、10月は福島でのセミナー後の集いで、地元の銘酒を堪能してヨレヨレになって反省してます(苦笑)。そして締めめのラーメンや大好きなペヤングは自己抑制しております！
 山本 潤	運用部長 兼 チーフポートフォリオ オマネジャー	随分と涼しくなりました。体力つくりのためになるべく歩くようにしています。猛暑の夏場は歩きたくても歩けませんでした。気候は涼しくなってもよいのですが、中東の地政学リスクや衆院選での与党大敗を織り込んでマーケットまで冷えてしまいました。米国長期金利も上昇しており、クオリティ・グロース投資には厳しい環境に逆戻りしています。先行き不透明感のあるときには株価は長期的観点からは割安なので強気で臨んでいます。
 居林 通	運用副部長 兼 シニアポートフォリオ オマネジャー	株式投資をAIの判断に任せることはできるでしょうか？私は難しいと考えます。というのは、株式投資の動きはあまりに様々な要因によって動くからです。株式投資は企業の将来価値の予測でもあるわけですが、企業の将来の価値は今のような経営を行っているのか、の結果だと思っています。経営を評価することが投資家の役割だと考えています。
 菅 淑郎	シニアポートフォリオ オマネジャー 兼 シニアアナリスト	スポーツの秋。皆さん、お体を動かされているでしょうか。最近の私的スポーツ感動シーン。0. ドジャースの活躍 1. 出雲駅伝優勝で抱き合う陸上部員たちと一緒にレスラーのような体格の弟の姿がTVに映ったこと。2. アジア卓球選手権男子シングルスでの張本智和選手の50年ぶりの優勝！なにかと女子が注目を集めがちですが、男子トップの打ち合いは凄まじく人間技とは思えません。YouTubeなどで手軽にライブを楽しめる時代です。ぜひ！
 佐藤 栄二	ポートフォリオオマネジャー 兼 シニアアナリスト	文部科学省後援の健康管理検定のコラムによれば、幸福を感じる脳内ホルモンには種類があり、代表的なものに「心と体の健康」のセロトニン、「愛情や人とのつながり」のオキシトシン、「成功や目標達成」のドーパミンがあるそうです。無理して目標を達成をしても自らの家庭や身体を壊しては元も子もないため、セロトニン⇒オキシトシン⇒ドーパミンの順で満たすことが大切ですね。まずは良質な睡眠と健康に良い食事を心がけたいと思います。
 大月 天道	シニアアナリスト	大統領選といえば2000年の大統領選でのKids Voteを思い出します。当時私が通っていたナッシュビルの小学校では、Kids Voteという模擬投票が行われており、小学2年生だった私は赤色が好きだったのでG・W・Bushに投票したのを覚えています。2000年の選挙はかなりの接戦でテレビでも大盛り上がりでした。今でも大統領選と聞くと少し楽しい気持ちになるのは当時のイメージがあるからかもしれません。
 谷 亜矢野	アナリスト	皆さま、いつもありがとうございます。皆さまはネットスーパーを利用されたことはありますか？私はつい先日初めて利用しました。毎日スーパーに行っていたのですが、よく考えると相当な時間ロスになっていることに気が付き、ネットスーパー×まとめ買いでフリータイムを捻出しようとしています。お米やお水など重いものを自宅まで運んでくださるサービスは大変ありがたかったです。しかし先にお財布が音を上げてしまいました。
 関口 耕大	アナリスト	この8名以外に、運用部には学生インターンが数名所属しています。アナリストの補助としてリサーチをアシストする以外にも、NISA制度を解説するYoutubeの企画・出演を行ったり、ChatGPTなど生成AIを活用しながらPythonで高精度な文字起こしを行う方法を報告してもらったりと、一人ひとりそれぞれの関心・強みを活かし、皆様からお預かりしている資産の成長に貢献してもらっています。



●10月5日(土)マンスリー運用報告会の様子



10月5日(土)マンスリー運用報告会@茅場町を開催しました。
悪天候にも関わらず今回も多くのお客さまにご参加いただきました。
熱いお客さまに囲まれ、運用状況の説明、投資先企業の紹介など多岐にわたる内容でお送りしました！
今月も茅場町でお待ちしています。

【10月5日(土)のプログラム】

- 「なかの世界成長ファンド」(居林 通、関口 耕大)
 - ・ファンド運用の考え方
 - ・米国と中国の投資環境
 - ・Feed Backシリーズ「半導体セクター」等
- 役立つ知識:「ファンド申し込み不可日」(谷 垂矢野)
- 「なかの日本成長ファンド」(山本 潤、大月 天道)
 - ・運用パフォーマンス動向について
 - ・資産組入状況について 等
- 新規組入銘柄の紹介(菅 淑郎)
 - ・コスモス薬品

<マンスリー運用報告会とは>

顔が見える運用会社として当社運用チーム全担当者による実際の企業調査内容や、運用現場においてどのように調査、議論、評価をして投資しているのかを皆さまにお伝えする場として実施しています。

【11月のセミナースケジュール】

9(土)@宇都宮
16(土)@神田(東京)
17(日)@茅場町(東京)
その他、随時開催のオンラインセミナーもございます♪

セミナースケジュールはこちら



<https://nakano-am.co.jp/seminar/>



【CIO探訪記】

～当社CIO(最高投資責任者)中野の見聞録～
【今月の総移動距離 4,735km】

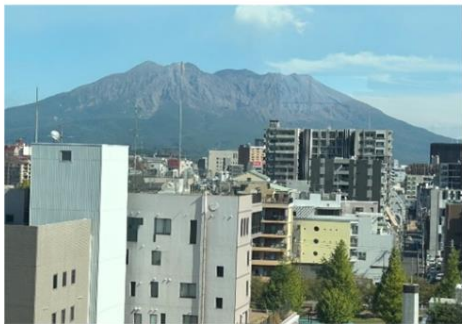
10/10(木) 富山

10/11(金) 京都

10/12(土) 鹿児島

10/13(日) 福岡

10/19(土) 福島



今月は北へ南へ旅した1ヶ月間でした。

総移動距離は4,735km！

富山ではフレッシュな大学生に向けて日本のみらいについて語り、鹿児島、福島では地元FPの皆さまと久しぶりの再会をさせていただくなど、行く先々で皆さまからあたたかく出迎えていただき今月も大変充実した旅路となりました♪

来月も各地の皆さまとお会いできるのを楽しみにしています。

～編集後記～

今月もあっという間に過ぎた1ヶ月間でした。

初旬には暑いくらいだった気温も下旬には肌寒く感じるくらいに低く、気温差が大きい1ヶ月間でしたね。案の定私は風邪を引いてしまい、風邪薬を飲みながらこの記事を書いています。

これからますます寒くなり乾燥する季節になりますが、皆さま体調には十分お気を付けください。(秋元 祐毅)



●ファンドの目的・特色

ファンドの目的

主として、内外の投資信託への投資を通じて、世界の成長企業に投資を行い、信託財産の長期的な成長を図ることを目的に運用を行います。

ファンドの特色

- 1 世界の株式に投資することで、日本以外の魅力的な投資機会も捉えることを目指します。
- 2 長期の資産形成を目指して、長期視点で世界の成長企業(クオリティ・グロース企業)の株式に投資を行います。
- 3 多面的な調査を行った上で、長期的に成長が期待される企業に投資をするアクティブファンドに、割安と考えられるタイミングで投資を行うことを目指します。
- 4 原則として、為替ヘッジは行いません。

ファンドの仕組み

当ファンドは、主にマザーファンドに投資するファミリーファンド方式で運用を行います。

また、マザーファンドを通じて複数の投資信託証券(投資対象ファンド)に投資するファンド・オブ・ファンズ形式で運用を行います。

※ マザーファンドを通じて内外の投資対象ファンドに投資を行い、実質的に世界の株式等に投資を行います。

分配方針

毎決算時(原則として毎年4月24日。ただし、休業日の場合は翌営業日。)に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。

- ・ 分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。
 - ・ 分配金額は委託者が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。
 - ・ 留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。
- ※ 将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

●投資リスク

基準価額の変動要因

- ・ ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、**投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。**
- ・ **信託財産に生じた利益および損失は、全て投資者の皆さまに帰属します。**
- ・ 投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの主なリスクは以下の通りです。

● 価格変動リスク

株式の価格は発行者の業績、経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化や国内外の経済情勢等により変動します。また、債券の価格は市場金利や信用度等の変動を受けて変動します。ファンドはその影響を受け、組入株式や組入債券の価格の下落は基準価額の下落要因となります。

● 信用リスク

組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。

● 為替変動リスク

為替相場は、各国の経済状況、政治情勢等の様々な要因により変動します。投資先の通貨に対して円高となった場合には、基準価額の下落要因となります。

● カントリーリスク

主要投資対象ファンドの投資対象国において、政治・経済情勢の変化、外国為替規制、資本規制、税制の変更等の事態が生じた場合、またはそれが予想される場合には、方針に沿った運用が困難になり、基準価額の下落要因となる可能性があります。

● 流動性リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない、または取引が不可能となるリスクのことを流動性リスクといい、当ファンドはそのリスクを伴います。

※ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。



収益分配金に関する留意点

- ・ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- ・ 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- ・ 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

その他の留意点

- ・ ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- ・ ファンドは、大量の解約が発生し、短時間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付が中止となる可能性、換金代金の支払いが遅延する可能性があります。
- ・ 一般的に、時価総額が小さい、取引量が少ない等流動性が低い市場、あるいは取引規制等の理由から流動性が低下している市場で有価証券等を売買する場合、市場の実勢と大きく乖離した水準で取引されることがあり、その結果、基準価額の下落の要因となる場合があります。

リスクの管理体制

委託会社では、リスク管理規程や運用モニタリング規程等の社内規程において、リスク管理の対象となるリスク、リスク管理体制および管理方法等が定められています。

- ・ 委託会社は受託者責任を常に念頭に置いたうえで、投資信託の「投資リスク」を適切に管理するため、①運用部門において、投資信託の各種リスクを把握しつつ、投資信託のコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うこと、②運用部門から独立した管理部署によりモニタリング等のリスク管理を行うこと、を基本の考え方として、リスク管理体制を構築しています。
- ・ 委託会社では、流動性リスク管理に関して、投資信託の組入資産の流動性リスクのモニタリング等を実施するとともに、緊急時対応策の策定・検証等を行います。委託会社の取締役会等では、流動性リスク管理を含めた実効的なリスク管理体制の整備、運用について監督します。

● 手続・手数料等

お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位とします。 ※ 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌々営業日の基準価額(1万口当たり)とします。
換金単位	販売会社が定める単位とします。 ※ 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の翌々営業日の基準価額とします。
信託期間	無期限(2024年4月25日設定)
繰上償還	委託会社は次のいずれかの場合には、繰上償還することがあります。 <ul style="list-style-type: none">・ 純資産総額が10億円を下回ることとなった場合。・ 信託契約を解約することが投資者(受益者)のため有利であると認めるとき。・ やむを得ない事情が発生したとき。
決算日	原則として、毎年4月24日とします。(休業日の場合は翌営業日) 第1決算日は2025年4月24日とします。
収益分配	原則として、年1回の決算時に収益分配方針に基づいて分配を行います。 ※ 販売会社との契約によっては再投資が可能です。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。 <ul style="list-style-type: none">・ 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA(少額投資非課税制度)の適用対象となります。・ 当ファンドは、NISAの「成長投資枠」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。・ 配当控除の適用はありません。・ 益金不算入制度は適用されません。



ファンドの費用・税金

●ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

- ・ 購入時手数料 **ありません。**
- ・ 信託財産留保額 **ありません。**

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	当ファンド	信託報酬の総額は、計算期間を通じて毎日、ファンドの純資産総額に対して、 年率0.605%(税抜0.55%) を乗じて得た額とします。運用管理費用は、日々計上され、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のときに、信託財産から支払われます。
	投資対象ファンド	年率0.4%～0.9%程度(税抜) ※運用・管理報酬等の料率は投資対象ファンドにより異なります。
	実質的な負担	年率1.3%±0.2%程度(税込) ※投資対象ファンドの組入比率の変更などにより変動します。
その他の費用・手数料	監査費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用等。監査費用を除くその他の費用・手数料は、その都度信託財産から支払われます。 ※これらの費用・手数料等については運用状況等により変動するものであり、事前に料率・上限額等を示すことができません。	

※ 投資者の皆様にご負担いただく手数料等の合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することはできません。

●税金

税金は表に記載の時期に適用されます。

以下の表は、個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。

時期	項目	税金
分配時	所得税および地方税	配当所得として課税 普通分配金に対して20.315%
換金(解約)時 および償還時	所得税および地方税	譲渡所得として課税 換金(解約)時および償還時の差益(譲渡益)に対して20.315%

※ 少額投資非課税制度「愛称：NISA(ニーサ)」をご利用の場合

NISAは、少額上場株式等に関する非課税制度です。

NISAをご利用の場合、一定の額を上限として、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が無期限で非課税となります。ご利用になれるのは、販売会社で非課税口座を開設し、税法上の要件を満たした商品を購入するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

※ 外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※ 法人の場合は上記と異なります。

※ 上記は、2024年2月末現在のものです。税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

●委託会社およびファンドの関係法人

委託会社 ファンドの運用の指図を行う者	なかのアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第3406号 加入協会：一般社団法人投資信託協会 ホームページアドレス： https://nakano-am.co.jp/
受託会社 ファンドの財産の保管および管理を行う者	野村信託銀行株式会社

販売会社 ファンドの募集の取扱い等を行う者	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
第一生命保険株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第657号	○	○		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○
株式会社イオン銀行(委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第633号	○			
株式会社SBI新生銀行(委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第10号	○		○	
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	○
株式会社北國銀行	登録金融機関 北陸財務局長(登金)第5号	○		○	

●当資料をご利用にあたっての注意事項等

- ・ 当資料はなかのアセットマネジメント株式会社が作成した資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。
- ・ ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- ・ 信託財産に生じた利益および損失は、全て投資者の皆さまに帰属します。
- ・ 当資料は、なかのアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- ・ 投資信託は預金または保険契約ではないため、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。登録金融機関で購入いただいた場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
- ・ 本資料で使用している指数等に係る著作権等の知的財産権、その他一切の権利は、当該指数等の開発元または公表元に帰属します。